

土佐精神集積鍛錬の聖地

■東九反田公園 史跡案内 巻■

この地には、幕末の開成館設置から始まる土佐の近代の歴史が積み重なっています。開成館は、西洋文明の導入をはかり、土佐藩近代化の礎となる活動をおこないました。

さらに、維新三傑と土佐藩首脳との会談の舞台ともなりました。

明治初頭には、立志社・立志学舎が創立されて自由民権運動の発祥の地となり、その後、海南学校が置かれ多くの人材が巣立っていきました。

昭和には、板垣旧邸が移築されて憲政館となり、あわせて「憲政之祖国」碑が建立され、土佐精神を今日まで顕彰してきました。

東九反田公園の整備にあたり、ここに解説板を設置して、この地の歴史と先人の足跡を伝えます。

2005(平成17)年 10月 1日

高知市教育委員会
[2017(平成29)年3月1日改修]

年代	事項
慶長6(1601)年	山内氏、高知城築城開始
貞享4(1687)年頃	堀川開削工事
慶応2(1866)年2月5日	開成館開設
慶応3(1867)年8月11日	開成館で山内容堂がアーネスト・サトウと会談
明治3(1870)年1月24日	開成館を寅賓館と改称
明治4(1871)年1月19日	西郷・木戸・大久保と板垣・福岡が会談
明治7(1874)年	立志社・立志学舎創立 1876(明治9)年頃移転
明治11(1878)年11月5日	民権派、第二回土佐州会開催
明治13(1880)年	海南学校分校移転開校
昭和6(1931)年6月1日	海南、城北中学校と合併、移転 翌年、県立海南中学校と改称
昭和8(1933)年	開成館本館を南国市の三和小学校に移築
昭和15(1940)年2月	開成門を海南中学校に移築
昭和16(1941)年	板垣退助旧邸を移築、憲政館と称す
昭和16(1941)年9月27日	「憲政之祖国」碑、建立
昭和17(1942)年2月11日	「嗚呼不朽」の碑、建立
昭和37(1962)年	東九反田公園整備
昭和40(1965)年	憲政館、老朽化のため取り壊し
昭和41(1966)年4月1日	高知市憲政記念館開館
昭和44(1969)年8月	開成館本館を三和小学校から小津高等学校に移築
平成10(1998)年1月	小津高等学校校舎新築に伴い、開成館本館取り壊し
平成16(2004)年	憲政記念館、老朽化により取り壊し
平成17(2005)年	東九反田公園再整備

海南学校(旧開成館)全景 南から見た海南学校 左に開成門、中央に開成館本館の建物がある

